



いまいは今  
vol.142

発行 今井町並み保存会  
発行日 平成24年4月1日  
電話 0744-22-1128  
http://www.3kcn.ne.jp/~imaicho/  
e-mail imaicho@m3kcn.ne.jp

◇ご意見・ご感想は  
今井まちづくりセンターまで

### 第17回今井町並み散歩詳細

5月12日から20日にかけて「今井町並み散歩」が行われます。開催に当たり、若林会長に話をおうかがいしたところ、次のようなコメントをいただきました。

「今年の今井町並み散歩は5月12日から始まる町かどアートで幕を開け、19・20日の恒例イベントでピークを迎えます。」

大震災から1年が過ぎた東北からの、復興への長い道のりを粘り強く懸命に歩まれているという報道を聞くことに、被災せずに暮らせる幸せを感謝し、また、保存すべき町並みを守る我々に何が出来るかを新たに問いかけると同時に、現在の持てる力をせい



写真は前回の町並み散歩の様子です

ばい出し切れるイベントにしたいと企画しています」  
3月18日(日)には諸団体はじめ関係者代表が一堂に会して、第1回実行委員会を今井地区公民館で行いました。

冒頭に事務局のほうからテーマである「絆で結ぶ商いと文化」が発表され、「お茶に代表する諸文化が今井に根づいた中世の今井町、人と人とを結びつけるその基盤となったのは商いの隆盛である。」



商いとは単純に売買だけでなく、その生産地の思い、息づかいすら届けてくれるものでなければならぬ。これは今を生きる私たちが同じでなく、過去の人たちと結びつけることができる今井町ならではの商いの方法であること、このイベントを通じて発信していきたい」というコンセプトが述べられました。

次に、前年度決算及び本年度予算案が承認されました。ここでは、茶行列衣装の傷みがひどくなってきたため、積み立てを始めることが事務局より提案され、拍手で了承されました。

4つの部門に分かれて話し合いがもたれ、それぞれから進捗状況や、今後に向けての課題が発表されました。

開催イベントは次号の「いまいは今」紙上にも掲載したいと考えています。  
また、4月7日(土)と8日(日)の二日間、今井まちや館にて「茶行列の衣装展示と撮影会」が「今井町並み散歩」プレイベントの一環として行われます。

これは5月20日の「茶行列」本番で使用される織田信長・今井宗久らの衣装を飾り付け、さらに希望者には実際に着用して写真撮影、そして町内を巡る行列を体験してもらおうとの趣旨で毎年行われている行事です。  
(ただし、衣装のサイズの関係で大人の方のみとさせていただきます。男性の方はU首、襟の広く開いた下着、ステテコ等のすそ揃きがよいものを、女性の方はキャミソール、もしくは襟の開いたものを着用の上、ご来館ください。また、参加費として今井小学校区在住の方は1000円、上記以外にお住まいの方は3000円いただきます。)

日本気象協会発表の桜開花予想によりますます、このころは奈良で桜が見頃になる時期だとされています。今井町内にお住まいの方は衣装を着る機会がほかにありませんので、ぜひともこの機会に体験していただきたいと思

います。  
申し込みは今井まちづくりセンターにて受けたまわっています。(撮影会当日の参加も可能です。)

## いまいの人々は

川柳一首

牧本誠也

これ最後 禁煙華って 五十年

私は定年を機会に禁煙し今日に至っています。私のある友人は会うたびに今日でやめるといい続けています。いったい何時やめるのでしょうか。

## 今井町の防災について

3月4日(日)に「2011今井防災フェスティバル」が開催されました。

この日、9時すぎ各地区で指定された集合場所から会場となる今井小学校運動場へ移動していた途中に、突然急を告げるサイレンの音が鳴り響きました。1丁目で火事が発生したのです。火事が発見されてからの対応は迅速でした。近所のひとたちは119番に通報後、消火器を用いて初期消火、次々と駆けつけた消防団第九分団の団員や住民による消火活動で消防士の到着を待ちました。このとき近くにあった20本あまりの消火器はすべて有効に活用されました。幸いなことにこの火事によるけが人はなく、約一時間で鎮火しました。



この出来事により、普段からの訓練と重要性を改めて認識することになりました。

今回、今井防災会会長の古林壮介さんから次のようなメッセージを頂きました。

今年の防災フェスティバルは開催直前に火災が発生し、住民の皆様方には「私達の町は私達で守る」という思いをひとつに必死の消火活動により、大事に至らなかった事に感謝申し上げます。その後の防災訓練は火災直後の事も例年以上の危機感をもって取り組んでいただき、大きな成果がありました。

今井町が歴史的な町並みを継承しているのは、江戸時代の町掟が火災時における住民の役割に多くをさいているように、防災に対する意識が高かったことによります。私達はこの伝統を守り次につなげていきたいと思えます。

終わりに平時に備えの重要性を説いた中国の故事を紹介します。

安きにありて危うきを思う。

居安思危

思えばすなわち備えあり。

思則有備

備えあれば患えなし。

有備無患

## 香具山小学校校外学習と

## 今井小学校卒業茶粥

1月から2月にかけて、二つの小学校の児童が今井町で貴重な体験をしました。

まず1月26日に香具山小学校の3年生19人が校外学習のため今井町を訪れました。

「今井町を通して、昔の暮らしを知ったり考えたりする」「橿原市にある、著名な日本の文化財にふれ、郷土愛を育てる」という目的を持ってのことでした。旧米谷家で竈に火をいれて自分たちでお茶を沸かし、お弁当を食べました。

2月26日には、恒例の今井小学校卒業茶粥が開催され、父兄や教員を含めた過去最高の40人以上が集まって、子供達を中心となり茶粥の準備からお膳の後片付けまでをしました。

今回初めて参加したという父兄の方にお話をお伺いしたところ、「きちんと準備しているのに驚いた」「普段食へるこの出来ないものをいただくことができ、うれしかった」「子供たちにとってもいい経験になったと思う」といった感想を聞くことができました。

## 今井往来

4月7日(土)8日(日)午前10時

茶行列の衣装展示と撮影会(まちや館)

4月20日(金)午後6時

今井町町並み保存会総会(華臺)

## 編集後記

皆さんは紙芝居を見たことがありますか？私はこれまで見たことがなかったのですが、先日、公民館の前で若い男性が子供たちの前で紙芝居をしているのを初めて見ました。聞けば、金曜日の午後3時半ごろから毎週開催しているとのこと。いちど足を運んでみるにはどうでしょうか？